

苫小牧市立豊川小学校

学校通信

第 9 号
電話 73-8024
令和5年12月22日



【学校教育目標】

- ・よく考え 勉強する子
- ・なかよく 助け合う子
- ・じょうぶで がんばる子



よい新年をお迎えください

校長 丹野 靖彦

猛暑でスタートし、インフルエンザが猛威を振るった2学期でした。すべての学級が感染拡大防止の閉鎖を行い、複数回閉鎖した学級もありました。休み中に流行が沈静化して子どもたちがのびのびと冬休みを満喫できることを願っています。その2学期も終わり、冬期休業に入ります。子どもたちは、2学期にたくさんの学びを通して大きく成長してくれました。通知表は2期制になって今学期末にはありませんが、ご家庭で2学期の成長について是非お話をしてみてください。

本日行いました終業式（二クラスはリモートで自宅からの参加）では、二つのことを話しました。一つ目は、プラスの反省をしてほしいということです。反省というと、何ができなかったとか〇〇の勉強がわからなかったという、できなかったことやうまくいかなかったことをいうことがあります。でも、自分はこれができるようになった、こんなことが分かった、こんなことが得意になったなど、自分の成長を評価する反省が今後さらに伸びていくためには重要になります。ぜひご家庭でも、そうしたプラスの反省を一緒にしてみてくださいませぬでしょうか。

保護者の皆様から本校の今年度の取組についてアンケートにご回答いただきました。ありがとうございました。多くのご意見を参考に学校の活動を振り返って次年度に生かしてまいります。そのアンケートでもプラスの反省を寄せてくださる方もおり、職員一同感謝と次への意欲につながりました。重ねてお礼申し上げます。

終業式にした二つ目の話は、元旦と「あけましておめでとう」いう意味についてです。最近は年賀状の交流も減り、新年のあいさつを聞いたり目にしたりすることも減っているのかもしれませんが、ぜひ新たな年を迎える喜びについてご家族でお話ししてみてください。終業式での内容はここに記載しませんので、お子様からお聞きください。

冬期休業にあたっては、交通安全とけがの防止についてご家庭でもご指導願います。冬期間は、交通事故が増える時期でもあります。交差点では、スリップ等で止まらない車にひかれる事故も起きることがあります。横断歩道がすべて、夏のように素早く渡れないこともあります。ぜひ、安全についてお声がけしていただき、無事故の冬休みになることを願います。また、けがの防止についてもご配慮願います。冬期間は、滑って転んでの打撲や捻挫・骨折などのけがが増えます。子どもたちは元気に外で遊ぶことも大切ですが、安全を意識して遊ぶことについてお話しいただきますようお願いいたします。

年末に一つ良いお話を。地域の方から次のような内容の電話がありました。「運転をしていると横断歩道に子どもたちがいたので止まると、先に行ってくださいと手で合図をして、しっかりと目を見て礼までしてくれました。とてもうれしい気持ちになりました。」

安全に気を付けるだけでなく、こうした振る舞いができる子どもたちはとても素晴らしいと思います。豊川の子供たちは、こうした地域の温かい目に見守られながら成長していくのだと、とてもありがたううれしい気持ちになりました。

寒さも厳しくなって参りました。豊川小学校の児童のみなさん、保護者の皆様におかれましては、ご自愛いただき良いお年をお迎えください。本年、本校の教育にご理解ご協力ありがとうございました。令和6年も宜しく願い致します。

1月の行事予定

1～5日(金) 年末年始・学校閉庁日

8日(月) 成人の日

12日(金) 転入受付 11:00～

15日(月) 3学期始業式(給食あり)

通常日課4時間授業

16日(火) 通常日課4時間授業

17日(水) スクールカウンセラー来校

19日(金) フッ化物洗口

22日(月) 児童会

全校読書の日

23日(火) 二計測5・6年

スケート学習(低・た・中)

24日(水) 二計測3・4年

25日(木) 二計測1・2年

29日(月) 児童代表委員会



学校閉庁日の機関の緊急時の連絡は、苫小牧市教育委員会(32-6739)か苫小牧警察署までお願いします。

事故なく有意義な冬休みを

○自然体験や地域活動への積極的参加を！！
北海道ならではの冬の体験や年末年始の地域の活動などに積極的に参加させ、社会性を育てましょう。

○生活リズムを整えましょう！！

年末年始などで生活リズムが崩れがちな冬休み。崩れたままの生活にならないように気を付けさせたいですね。新年と新学期は、新しい気持ちで、目標を立てたり再確認したりできるチャンスです。目標をしっかりと立てて過ごさせましょう。また、家族の一員として、一つでも良いので仕事を任せ、続けて取り組ませることも大切です。

○事故の防止を！！

冬型の交通事故から身を守りましょう。家庭でも繰り返し御指導をお願いします。

書き初め教室

伊藤裕子先生と永田みずき先生を講師にお招きし、3～6年生が書き初め教室を行いました。

子供たちは、講師の先生の実演から書く際のポイントを学び、真剣に取り組んでいました。



ありがとうございました！

親子読書、家庭学習強化週間、保護者アンケートなどの取組に、保護者の皆様の御協力をいただきました。どうもありがとうございました。

保護者アンケートの集計結果につきましては、3学期にお知らせいたします。

体罰調査について

児童に体罰調査票と提出用封筒を配付しました。調査票に記載しているとおりに **Web上で回答できます**ので、ぜひ、御活用ください。なお、従来通り封筒での回収も行っております。封筒での提出を希望される場合は、1月15日(月)～17日(水)に児童玄関前にて、校長か教頭に御提出をお願いします。

様々な悩みに関する相談窓口

学校以外にも、いじめ・不登校などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなどの家庭教育に関する悩みについての相談に対応している機関がありますので、お知らせいたします。

子ども相談支援センター⇒様々な悩み

0120-3882-56 (毎日24時間対応)

メール: sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

児童相談所虐待対応ダイヤル⇒虐待関係

189 (毎日24時間対応)

子どもの人権110番⇒いじめ、体罰等

0120-007-110 (月～金8:30～17:15)

こころの電話相談⇒様々な悩み

0570-064-556 (月～金9:00～21:00)

北海道いのちの電話⇒様々な悩み

011-231-4343 (毎日24時間対応)

北海道ヤングケアラー相談

サポートセンター⇒ヤングケアラーに関する相談

0120-516-086 (月～金8:45～17:30)